

三重県立看護大学講堂照明LED化工事

図面リスト

図面番号	図面名称
E-01	電気設備特記仕様書
E-02	配置図・仮設計画図
E-03	照明器具姿図・撤去照明器具表
E-04	講堂1階照明設備図(改修前・後)
E-05	講堂2階照明設備図(改修前・後)
E-06	舞台照明特記仕様書・機器構成表
E-07	舞台照明仕様表・照明器具姿図
E-08	舞台照明設備図(改修後)
E-09	舞台照明設備図(改修前)
E-10	講堂1階自動火災報知設備図(改修前・後)
E-11	講堂2階自動火災報知設備図(改修前・後)
E-12	仮設平面図・断面図

電気設備工事特記仕様書

I 工事概要
 1 工事場所 三重県津市夢が丘1丁目1番地1
 2 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防令別表第一	備考
講堂	RC造	2			

3 工事種別 (○印のあるものを適用する。)

建物別 工事種目	講堂				
受変電設備					
自家発電設備					
電灯設備	○				
動力設備					
避雷針設備					
構内配電線路					
電話配管設備					
インターホン・電気錠設備					
拡声設備					
電気時計設備					
テレビ共聴設備					
表示設備(トイレ呼び出し表示)					
火災報知設備	○				
防犯配管設備					
構内交換設備					
構内通信線路					
A V設備工事					
I T V設備工事					

II 工事仕様書

1 共通事項
 図面及び特記仕様書に記載されていない事項はすべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の電気設備工事、建築工事、機械設備工事標準仕様書(令和7年版)及び標準図(令和7年版)工事監理指針(令和4年版)による。但し標準図による図記号、区分、名称の記入なきものは標準図を適用しない。図面と仕様書に差異がある場合及び不明な箇所が生じた場合は全て監督員の指示による。

2 特記仕様書
 1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
 2) 特記事項は○印の付いたものを適用する。

3 設計図書優先順位
 設計図書中に相互に差異のある場合の優先順位は次の通りとする。
 但し現場説明書及び質疑回答書は最優先とする。
 1 特記仕様書 2 設計図 3 標準仕様書

項目	特記事項
① 施工従事者	○ 自家用電気工作物においても法令で定める電気工事とする。
② 工事前仮設	○ 仮設図参照。
3 残土処分	・ 構内指示場所に敷ならし。 ・ 構内指示の場所に推積。 ・ 構外搬出適切処分
4 埋戻し土	・ 根切土中の良質土 ・ 山砂類(購入土)
⑤ 発生材の処分	○ 自由処分 ・ 大学に引渡 ・ 大学に引渡しを要するもの
⑥ 再使用機器	・ なし ○清掃絶縁抵抗測定のうち取り付ける。
⑦ 提出書類及び期限(原則としてA版とする)	○ 別紙による
⑧ 引渡書類	○ 別紙による
⑨ 官公庁その他手続き	○ 工事の施工に必要な手続きは請負者の責任とし、その費用は請負者の負担とする。 尚、各種手続き一覧表を作成の上、事前に提出し係員の承諾を得る事。 ○ 測定箇所は10ヶ所以上(工事前、工事後) (注) 係員の指示ある場合はそのヶ所による。
⑩ 照度測定	設備機器の固定は建設省住宅局建築指導課監修の建築設備耐震設計施工指針による。
⑪ 耐震施工	○ 本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は本工事とする。 ・ 工事区分表による。
⑬ 既設との取合い 13 他工事との取合い	

⑭ 工事写真
 ○ 工事写真の振り方/建築、及び同/建築設備に従い撮影する。
 電子納品とし、次のものを提出する。
 全写真のサムネールを印刷したもの(A4版) 1部
 代表的写真を抽出し、L版相当サイズで印刷(A4版用紙に1ページあたり3枚)印刷したもの 1部
 當繕工事完成引渡要領により作成する。

15 塗装	塗装場所		塗装の種類	塗り回数	備考
	機材	状態			
	金属製ブルボックスダクト		調合ペイント	2	内面は除く
	金属製の支持金物 架台など	露出	サビ止めペイント	2	(合計4回)
			調合ペイント又はアルミニウムペイント	2	
		除べい	サビ止めペイント	2	
	電線管	露出	エッチングプライマー	1	
			調合ペイント又はアルミニウムペイント	2	

(備考) 配線室、共同構内は露出として扱う。

16 電力等の引込み
 ・ 電力及び電話引込線の引止方法、位置については電力会社、及び電話会社と打合わせの上監督員との協議により施工する。

⑰ 施工一般
 ・ 配線器具は(・大角形 ・ワイド形)スイッチは(・一般 ・ネーム付)とする。
 ・ 配線器具のプレートは(・新金属製 ・樹脂製)とする。
 ・ フロアボックスのプレートは(・アルミダイカスト製 ・銅合金製)とする。
 ・ 機器を塗装しないボックス等には用途表示を行う。
 ・ ブルボックスの使用区分は、屋内一般は鋼製、屋内多湿箇所は塩化ビニル製、屋外はステンレス製とする。また、鋼製及びステンレス製は接続端子付とする。
 ・ ブルボックスの止めネジは、鋼製にはクロムメッキ製、塩化ビニル製及びステンレス製にはステンレス製とし、ねじの頭部はプラスとする但し除べい部分に設けるブルボックスの止めねじは、鍍ねじとする
 ・ 盤類には、盤箱体より(・二重天井内 ・床下) 迄予備配管(31)1本を施工する。
 ・ 配管の使用区分は原則として次による。

- 屋内幹線 (除べい、打ち込み)
 - ・ E管
- 屋内幹線 (露出)
 - ・ CP管
- 屋外(地中)
 - ・ FEP管
- 屋外(露出)
 - ・ CP管
- H、H~盤
 - ・ HIVE管
- 屋内分岐 (除べい、打ち込み)
 - ・ PF1重管
- 屋内分岐 (露出)
 - ・ CP管

- ・ 露出配管はねじ込み接続とする。
- ・ 配管等の支持間隔は次による。
- 金属管
 - ・ ・ 2.0m以下
- 金属ダクト
 - ・ ・ 水平 2.0m以下
 - ・ ・ 垂直 3.0m以下
- 合成樹脂管
 - ・ ・ 1.5m以下
- P F管
 - ・ ・ 1.0m以下
- 金属線ひ配線
 - ・ ・ 1.0m以下
- ライティングダクト
 - ・ ・ 2.0m以下

- 合成樹脂線ひ配線
 - ・ ・ 0.5m以下
- ・ 露出配管をサドル止めする場合は両サドルとする。
- ・ 配管工事だけの場合は、呼び線(ビニル被覆鉄線1.2mm)を挿入する。
- 幹線用ブルボックス及び室内その他要所のケーブル電線には、ファイバー製の名札を取付回路の種別、行く先等を表示する。但しH、H内にはプラスチック製(エッチング)とする。
- ・ 地中電路には全て、標識シート及び埋設表示杭を設け、埋設表示杭の位置を施工図に付すこと。
- ・ ハンドホルの天端はGL+20mmとする。但しアスファルト用はGL±0mmとする。
- ・ 金属管と配分電盤、ブルボックスなどとの間はボンディングを行い電氣的に接続する。
- ・ 機器及び配管等の塗装色は監督員の指示による。

- 工事に必要な既設機器等の脱着については図面に指示なくとも行うこと。
- 工事着工前に絶縁抵抗測定を行い記録しておくこと。また工事後においても絶縁抵抗測定等、その他監督員の指示による測定を行うこと。

⑱ 足場等
 ・ 別契約の関係受注者(下請け工事の場合は元請け)が設置したものは無償で使用できる。
 ● 本工事で設置する。
 足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)第1編第2章2.2より足場の種別は以下による。
 ● 内部足場(●A種 ●B種 ●C種 ●D種 ●E種 ●F種 ●G種)
 ● 外部足場(●A種 ●B種 ●C種 ●D種 ●E種 ●F種)
 令和4年1月2日以降に高さ5m以上の箇所での作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能墜落制止用器具はフルハーネス型とし、「墜落制止用器具の規格」(平成31年1月25日厚生労働省告示第11号)によるものとする。

① 機器仕様
 下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。なお、詳細については図面による。

【電力設備】

① 電灯設備
 (1) 既設等との取り合い
 ・ 無し ・ 盤改造 ・ 配線接続 ・ 電源供給 ・ その他()

(2) 機器類
 ・ 一般照明器具 ・ 照明制御装置 ・ 外灯(単独設置) ・ コンセント等
 ・ 分電盤、制御盤等 ・ その他()

(3) 一般照明器具
 1) 形式 ● 公共型 ・ 一般型
 2) 灯具 ● LED灯 ・ その他(蛍光灯)
 3) 用途 ● 屋内用 ・ 屋外用 ・ 防災用
 4) 環境 ● 普通地域 ・ 塩害地域
 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。

(4) 照明制御器
 1) センサ類 ・ 明るさセンサ ・ 人感センサ ・ タイマ ・ 調光スイッチ
 ・ その他()
 2) 調光方式 ・ 連続調光 ・ 段階調光 ・ ON/OFF制御
 ・ その他()

(5) 外灯(単独設置)
 1) 照明用ポール
 ① 材質 ・ アルミニウム製 ・ 鋼製 ・ 溶融亜鉛メッキ
 ・ その他()
 ② 配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。

2) 基礎 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他()
 3) 灯具 ・ LED灯 ・ その他()
 4) 電源 ・ 商用電源(60Hz)(・200V ・100V) ・ その他(太陽光)
 5) 制御 ・ Eスイッチ ・ タイマ ・ その他()
 6) 接地 ・ 単独接地(・本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用) ・ 共用
 ・ その他()

(6) コンセント等
 ・ 一般型 ・ 防水型
 ・ ハフツヨクソフット(・固定型 ・ 上下動型(アップ式を含む))

(7) 分電盤、制御盤等
 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。
 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。
 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。
 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。
 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。
 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。

② 自動火災報知設備
 (1) 機器
 ・ 受信機 ・ 副受信機(表示装置) ・ 中継器 ・ 発信機 ・ 感知器
 ・ 光警報装置 ・ その他()

(2) 受信機
 1) 型式 ・ P型1級 ・ P型2級 ・ R型
 2) 回線数 ・ ()回線 ()アドレス
 3) 試験機能 ・ 自動試験機能 ・ 遠隔試験機能
 4) 盤形式 ・ 複合盤組込 ・ 自立型 ・ 壁掛型
 ・ その他()

(3) 副受信機(表示装置)
 1) 盤形式 ・ 自立型 ・ 壁掛型 ・ その他()
 2) 回線数 ・ ()回線 ()アドレス
 3) 表示装置の仕様詳細は別図による。

(4) 中継器
 試験機能 ・ 自動試験機能 ・ 遠隔試験機能

(5) 発信機
 1) 型式 ・ アドレス付 ・ P型1級 ・ P型2級
 2) 消火栓ポンプ起動 特記なき場合は、発信機運動方式とし、発信機表面に「消火栓起動」等の文字を併記する。

(6) 感知器
 1) 型式 ・ アドレス付 ● 一般型
 2) 種類 ● 熱感知器 ・ 空気管式 ● 煙感知器 ・ 炎感知器
 3) 試験機能 ・ 自動試験機能 ・ 遠隔試験機能
 4) 機器仕様 ・ 一般 ・ 防水 ・ 防塵 ・ 防食 ・ その他()

(7) 光警報装置
 1) 機器 ・ 警報装置 ・ 制御装置 ・ 同期装置
 2) 警報装置 ・ 天井付 ・ 壁付
 3) 同期装置 ・ 自走同期式 ・ 外部同期式

③ アスベストの含有調査
 事前調査(有資格者) ● 行う ・ 行わない
 調査結果報告書等の貸与 ・ 有 ● 無
 分析調査 ・ 行う(対象箇所:) ・ 行わない
 ・ 定性分析 ・ 定量分析

分析調査は「建材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。

現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。

④ 使用資機材の製造者
 (1) 以下に掲げる資機材については、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(電気設備機材・機械設備機材)(一社)公共建築協会 発行)」(以下「評価名簿」という)に記載されている製造者の製品を使用すること。
 なお、納入地区に中部地区が含まれ、評価の有効期間内であるものとする。

- LED照明器具(一般屋内用に限る)
- サージ防護デバイス(SPD)
- 盤類
- 絶縁監視装置
- 交流無停電電源装置
- 監視カメラ装置
- 照明制御装置
- 可変速運転用インバータ装置
- 高圧機器
- 蓄電池
- 太陽光発電装置
- 中央監視制御装置

(2) 評価名簿に記載されていない製造者の製品を使用する場合は、評価名簿の評価基準と同等の条件を満足することを証明する書類を監督員に提出し、監督員の承諾を得るものとする。

⑤ 完成時の提出図書

名称	完成書類	部数
完成図(原図サイズ)	竣工図(製本)	1部
	施工図(製本)	1部
完成図(原図サイズA4折り)	ファイル綴	1部
完成図(A3版縮小二つ折り)	竣工図(製本)	2部
	施工図(製本)	2部

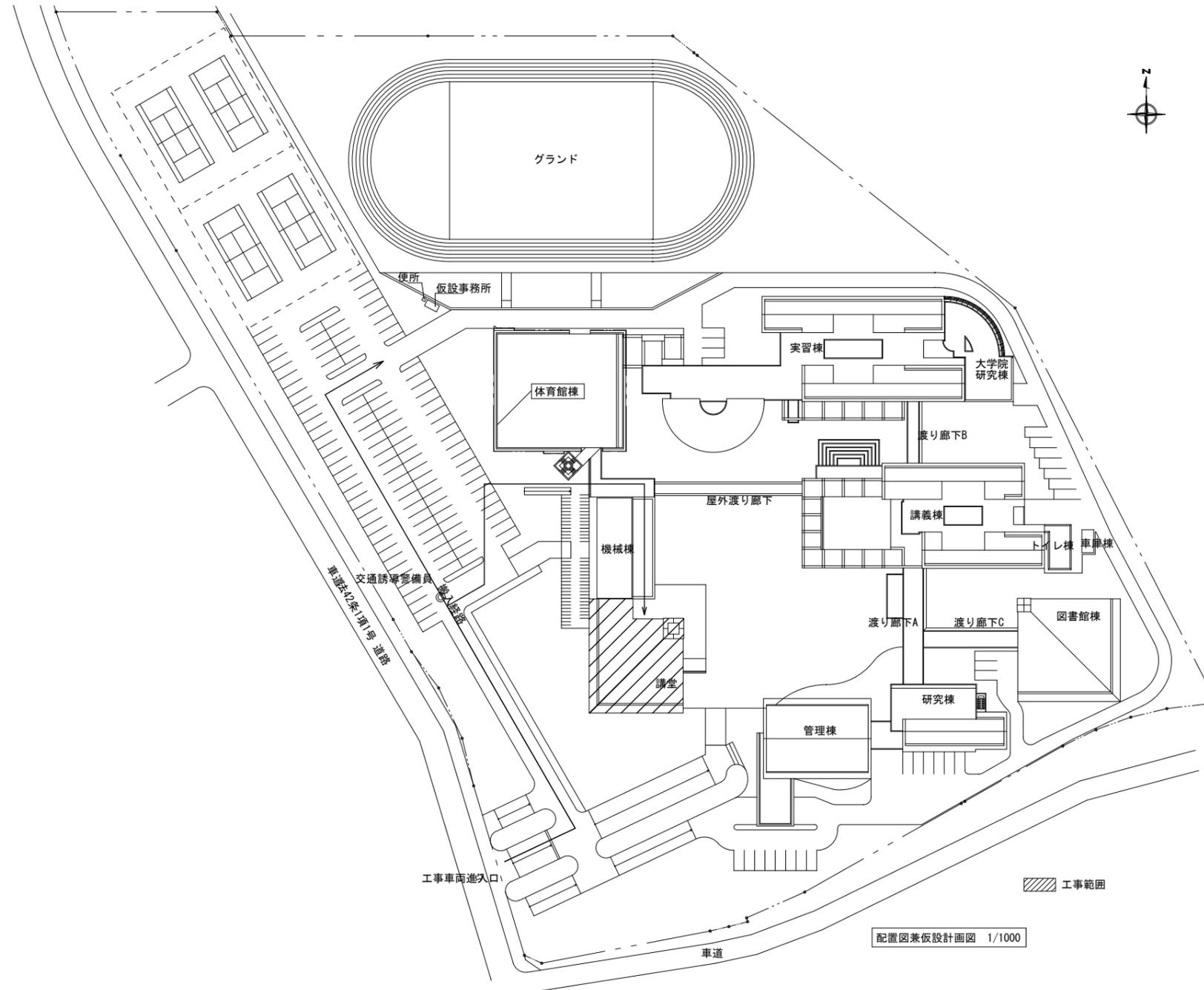
保全に関する資料
 制御システム図
 システム系統図
 資機材一覧表
 機器完成図
 取扱説明書
 試験結果報告書
 工場試験成績書
 各種計算・検討書
 予備品・付属品一覧表
 機器銘板の写し
 検査済証
 保証書
 メンテナンス要領書
 メンテナンス参考業者一覧表
 官公庁手続き書類一覧表
 官公庁手続き書類の写し(表紙のみ)
 その他監督員の指示するもの
 *各種書類には一覧表を作成し、インデックスも付けること。

工事に関する書類
 工事カルテ受領書の写し
 施工計画書
 施工要領書
 部分下請負通知書及び下請負契約書の写し
 施工体制台帳及び施工体系図
 工事進捗状況報告書
 各種計画書及び報告書
 排出ガス対策型建設機械使用報告書
 工事打合簿
 段階確認書
 工事事故報告書
 安全管理関係書類
 使用機材届出書
 工事材料搬入報告書
 機器明細図
 機材の品質及び性能証明書
 各種計算・検討書
 工場試験成績書
 試験結果報告書
 計測機器類の校正証明書、精度保証書、又は検定証の写し
 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書
 産業廃棄物処理集計表
 現場発生品調査
 再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書
 再資源化等完了報告書(特定建設資材廃棄物)
 工事写真(サムネール及び代表写真)
 検査立会者名簿
 その他監督員の指示するもの
 *各種書類には一覧表を作成し、インデックスも付けること。

官公庁手続き書類
 官公庁手続き書類一覧表
 官公庁手続き書類(本冊)

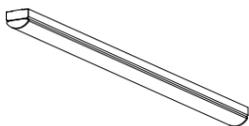
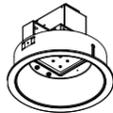
電子納品
 工事目的物引渡書
 引渡目録

注
 ・ 完成図はCADにより作成すること。
 ・ 保全に関する資料は、国土交通省「施設保全マニュアル作成要領」を参照する。
 ・ 改修工事等は既存の完成図を修正すること。
 ・ 白焼き(青焼き不可)で文字潰れのないこと。
 ・ 表紙(可能な範囲で背表紙にも)に「年度、工事名、工期、竣工図(又は施工図)、受注者名」を印字(シール不可)すること。
 ・ 作成しがたい場合は、監督員との協議による。
 ・ 上記表は標準の部数であり、詳細については監督員の指示による。
 ・ その他監督員の指示する書類を作成して提出すること。
 ・ ファイルはニューフファイル以上とする。
 ・ 完成書類の著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)は発注者に移譲するものとする。



特 記 事 項		設 計	公益財団法人 三重県建設技術センター	縮 尺	A2:S=1/1000 A3:S=1/1410	三重県立看護大学講堂照明LED化工事	図 番	年 月 日
						図 名 配置図・仮設計画図	No. E 02	令和7年7月

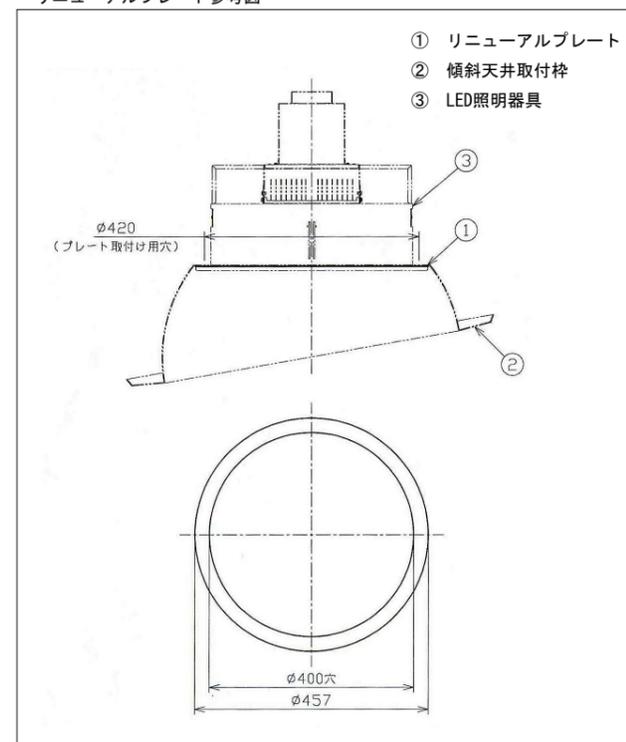
照明器具姿図

A430	LEDベースライト 直付形 LSS1-4-30 LN	A430LD	LEDベースライト 直付形 LSS1-4-48 LX	B17	LEDダウンライト LRS1-17LN
 <p>昼白色：5000K 消費電力：22.0W以下 器具光束：3,000 lm以上 3,300 lm以下</p>		 <p>調光タイプ 昼白色：5000K 消費電力：35.0W以下 器具光束：4,800 lm以上 5,300 lm以下</p>		 <p>昼白色：5000K 消費電力：17.0W以下 器具光束：1,700 lm以上 2,200 lm以下</p>	
C22	LEDダウンライト LRS1-17LZ 調光タイプ	D200	LED高天井用ダウンライト 調光タイプ	E200	LED高天井用ダウンライト 調光タイプ
 <p>昼白色：5000K 消費電力：17.0W以下 器具光束：1,700 lm以上 2,200 lm以下</p>		 <p>LEDD-20045N-LD9 XND9941SSK LR9 EL-D20010N/7 AHTZ リニューアルプレート共 落下防止用ワイヤー共 昼白色：5000K 器具光束：18,000 lm以上</p>		 <p>LEDD-10045N-LD9 XND9978SNZLR9 EL-D15022N/7 AHTZ リニューアルプレート共 落下防止用ワイヤー共 昼白色：5000K 器具光束：12,000 lm以上</p>	
F08	LEDダウンライト LRS1-08LN	G19	LED客席誘導灯	H200	LED高天井用ダウンライト LRS2-160
 <p>昼白色：5000K 消費電力：9.0W以下 器具光束：800 lm以上 1,300 lm以下</p>		 <p>FBK-60000-LS17 FA01520J LE1 寸法：幅156×150×高43 自己点検機能付 ニッケル水素蓄電池使用 常時・非常時LED点灯 型式認定番号：4AE-1006</p>		 <p>落下防止用ワイヤー共 昼白色：5000K 消費電力：139.0W以下 器具光束：16,000 lm以上</p>	
I60	ブラケット(既設器具再利用) ランプのみ交換				
<p>口金GX10q-4をLEDランプに取替え</p>					

照明器具表(撤去)

記号	仕様	容量
A41	直付型 箱型	FL 40W × 1
A41T	直付型 調光型 箱型	FL 40W × 1
B181	ダウンライト	FDL 18W × 1
C100	ダウンライト	IL 100W × 1
D100	高天井ダウンライト	IL 100W × 1
E400	高天井ダウンライト	MF 400W × 1
F271	ダウンライト	FDL 27W × 1
G5	客席誘導灯	IL 5W × 1
H400	高天井ダウンライト	MF 400W × 1
I181	ブラケット ランプのみ撤去	FDL 18W × 1

リニューアルプレート参考図



特記事項

1. 埋込照明器具は必要に応じてリニューアルプレート等を取付ること。
2. 既設器具とのサイズ違いによる壁塗装補修、天井開口加工、隙間補修等は本工事に含む。
3. 照明器具形状・光束・メーカー品番は参考とし、同等品とする。
4. 照明器具型番で本体型番を示すものは、LED電球、ユニットを含むこと。

特記事項

設計

公益財団法人 三重県建設技術センター

縮尺

A2:S=N/S
A3:S=N/S

三重県立看護大学講堂照明LED化工事

図名 照明器具姿図・撤去照明器具表

図番

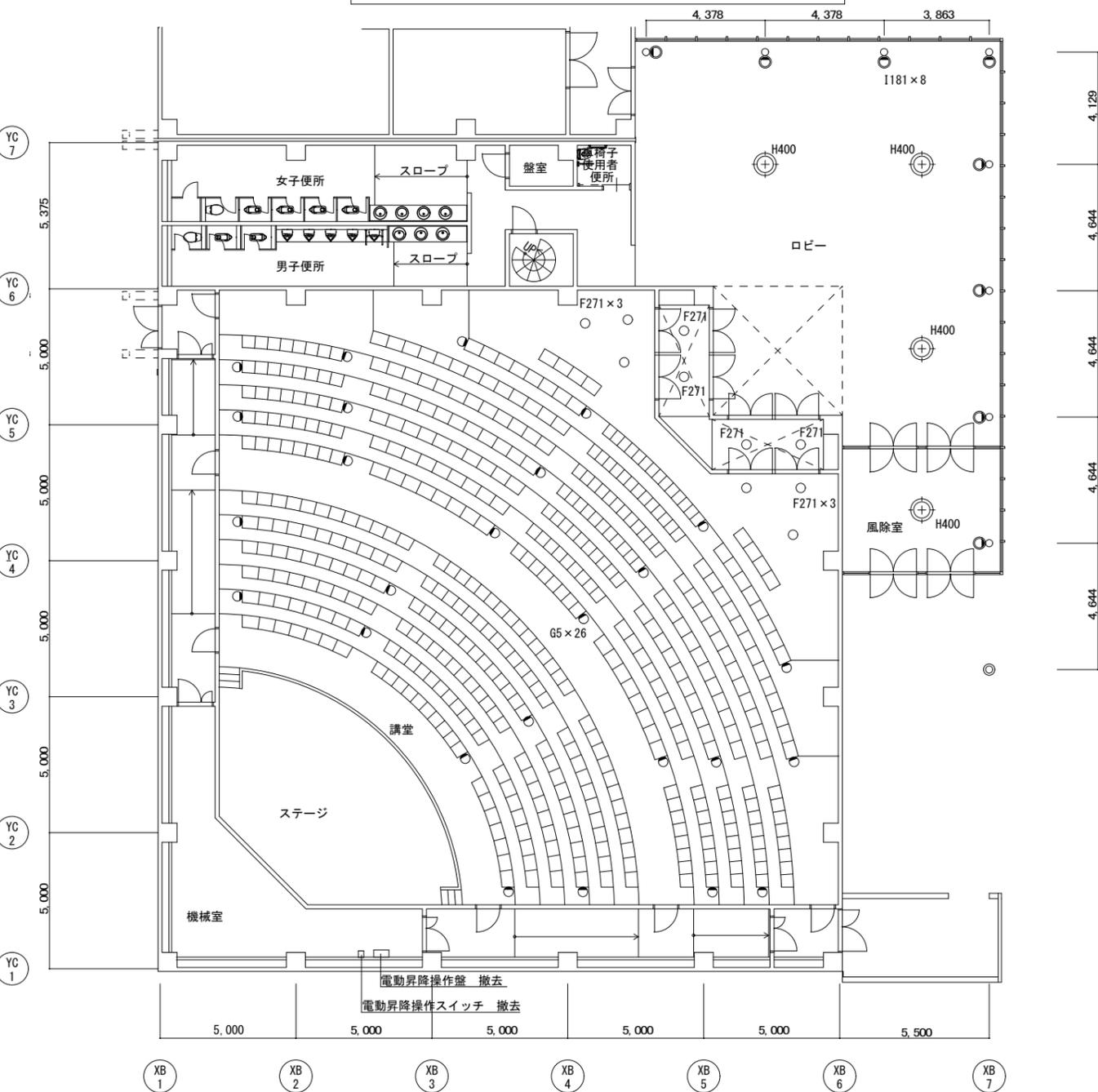
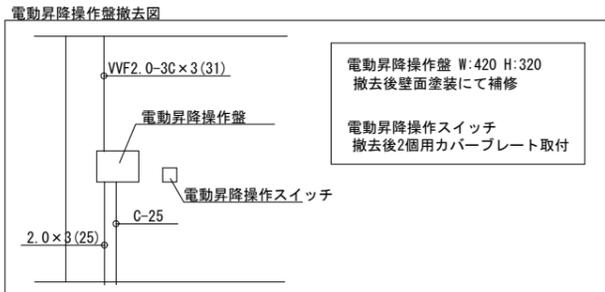
No. E
03

年月日

令和7年7月

凡例	記号	名称	備考
○	客席誘導灯	撤去	
●	ブラケット	ランプのみ撤去	
⊕	高天井埋込照明器具	撤去	

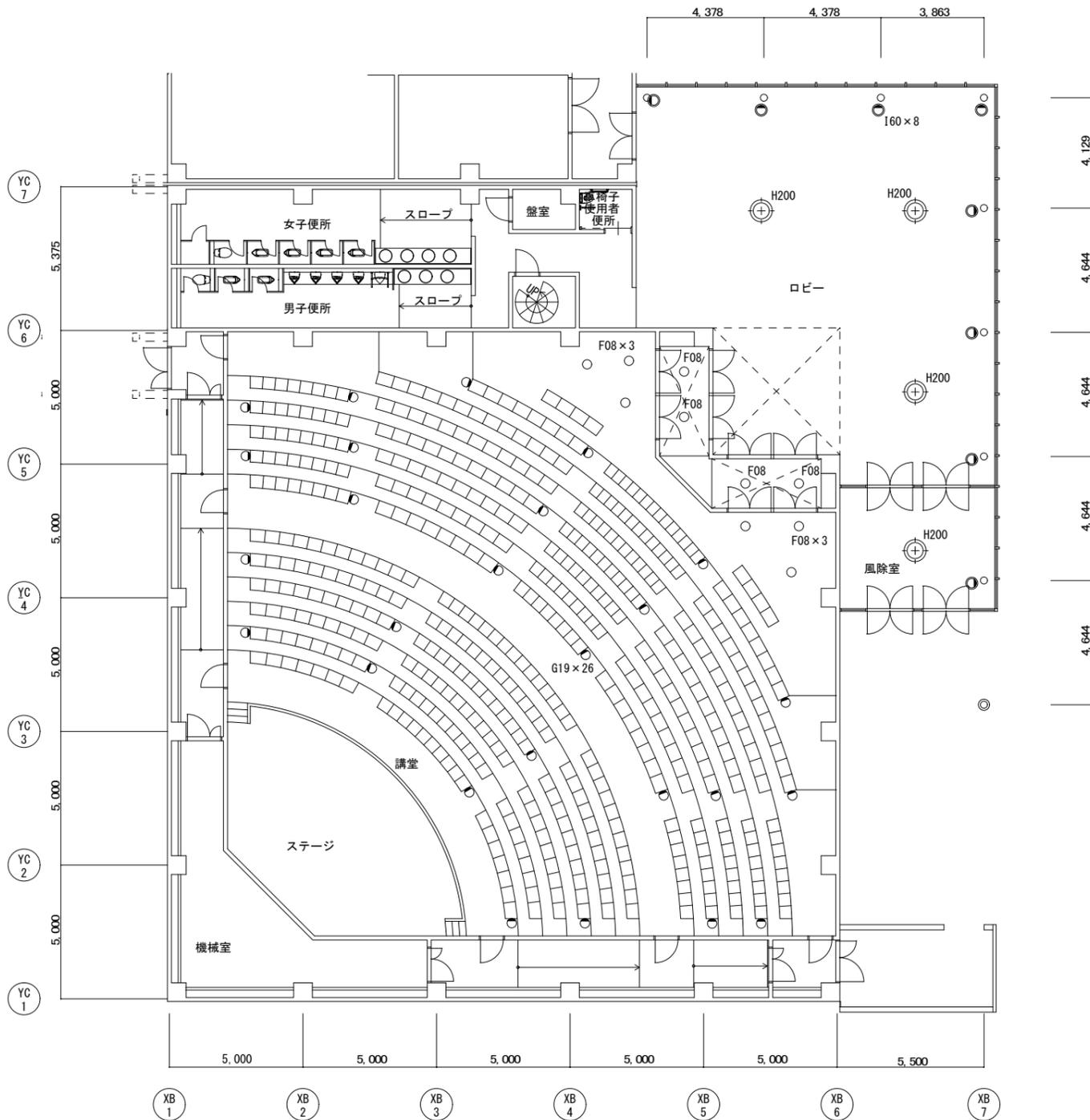
照明器具は撤去処分とする。



1階平面図 S:1/150

前

凡例	記号	名称	備考
○	客席誘導灯	更新	
●	ブラケット	ランプのみ更新	
⊕	高天井埋込照明器具	更新	



1階平面図 S:1/150

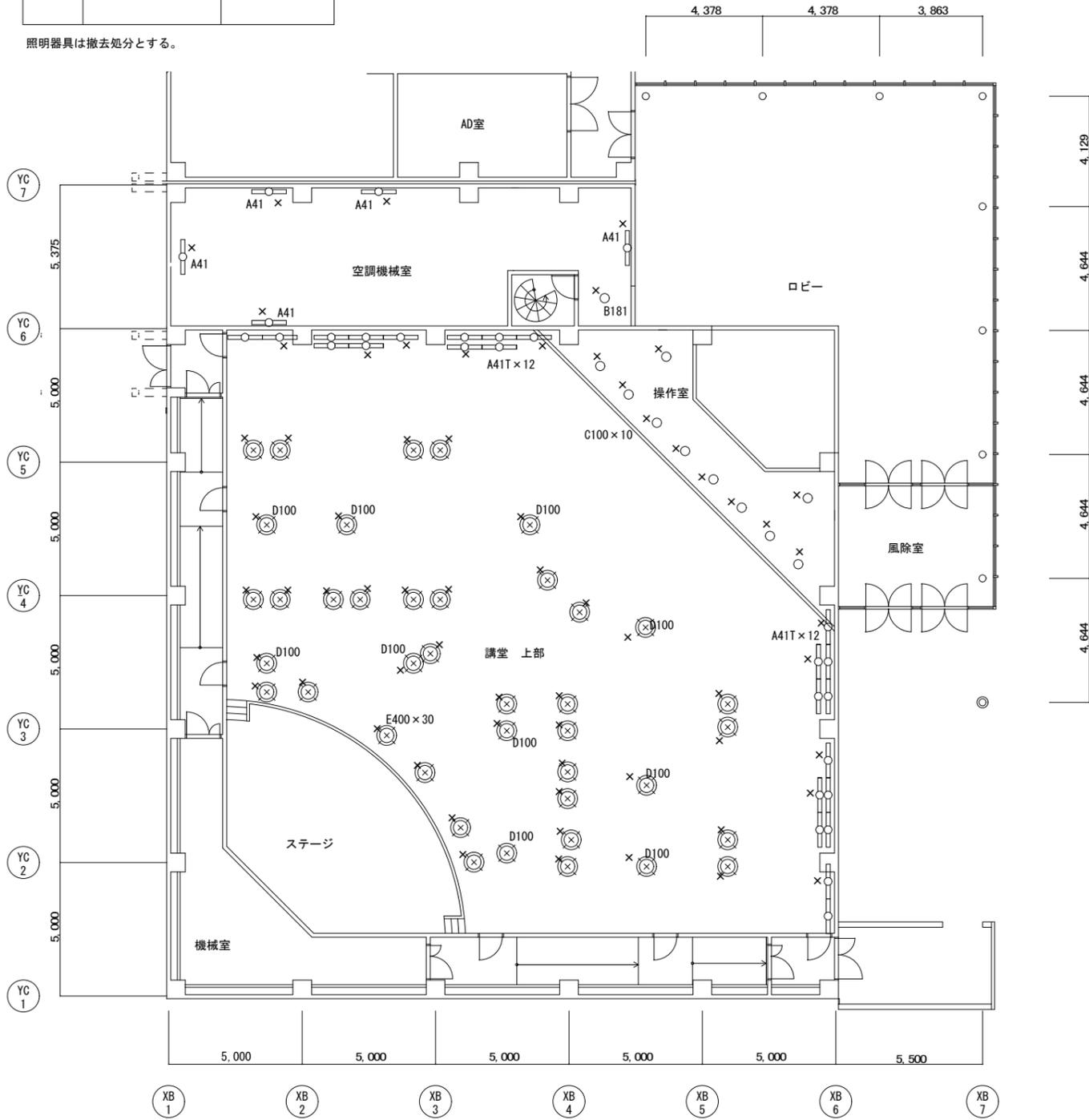
後

特記事項	設計	公益財団法人 三重県建設技術センター	縮尺	A2:S=1/150 A3:S=1/212	三重県立看護大学講堂照明LED化工事	図番	年月日
					図名 講堂1階照明設備図(改修前・後)	No. E 04	令和7年7月

凡例

記号	名称	備考
○ x	壁付け照明器具	撤去
○	ダウンライト	撤去
⊕ x	高天井埋込照明器具	撤去

照明器具は撤去処分とする。

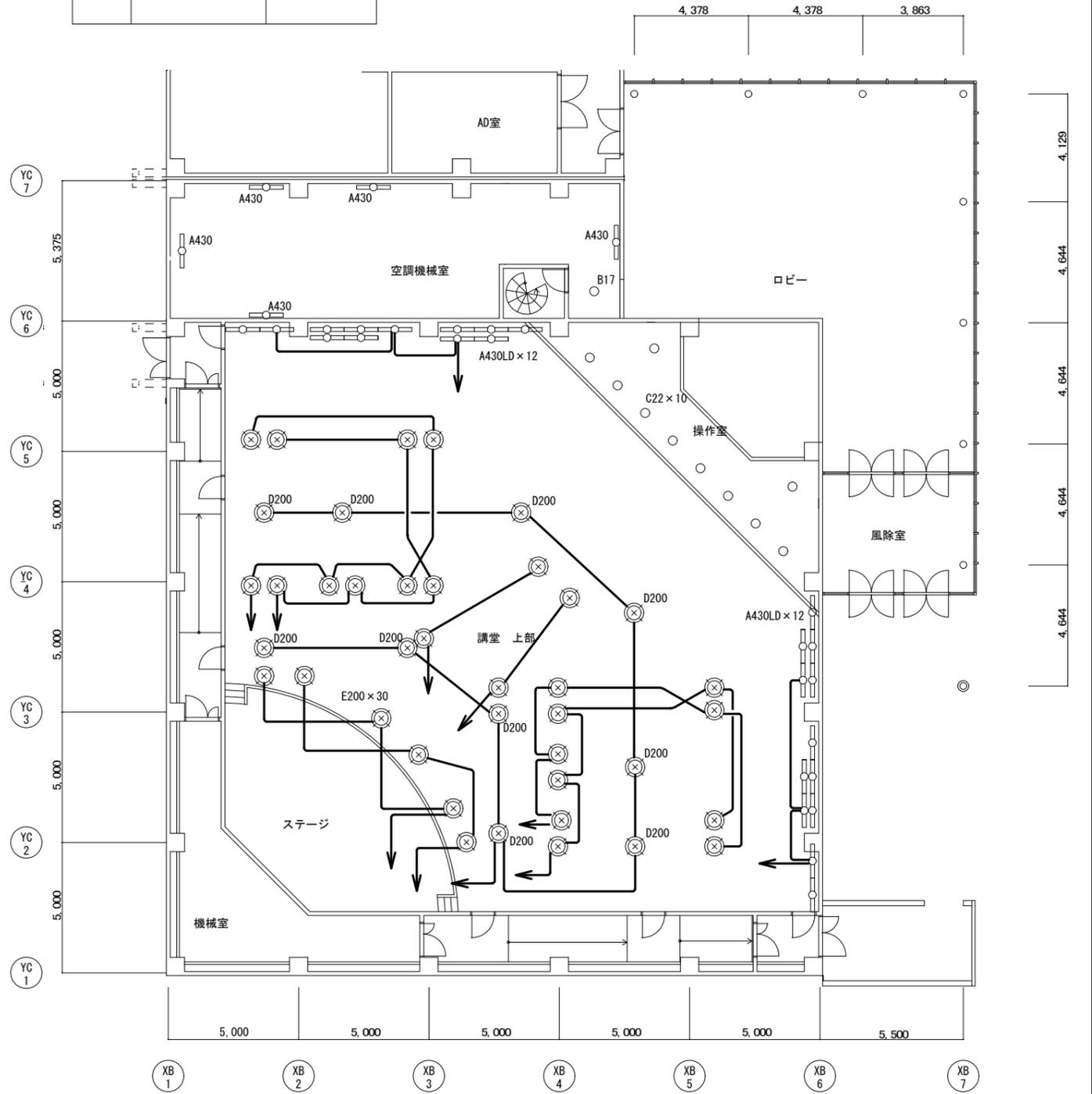


1階上部平面図 S:1/150

前

凡例

記号	名称	備考
○	壁付け照明器具	更新
○	ダウンライト	更新
⊕	高天井埋込照明器具	更新



1階上部平面図 S:1/150

DMX2 0.3-2P
照明用電源配線は、既設流用とする。

後

特記事項

設計

公益財団法人 三重県建設技術センター

縮尺

A2:S=1/150
A3:S=1/212

三重県立看護大学講堂照明LED化工事

図名 講堂2階照明設備図(改修前・後)

図番

No. E
05

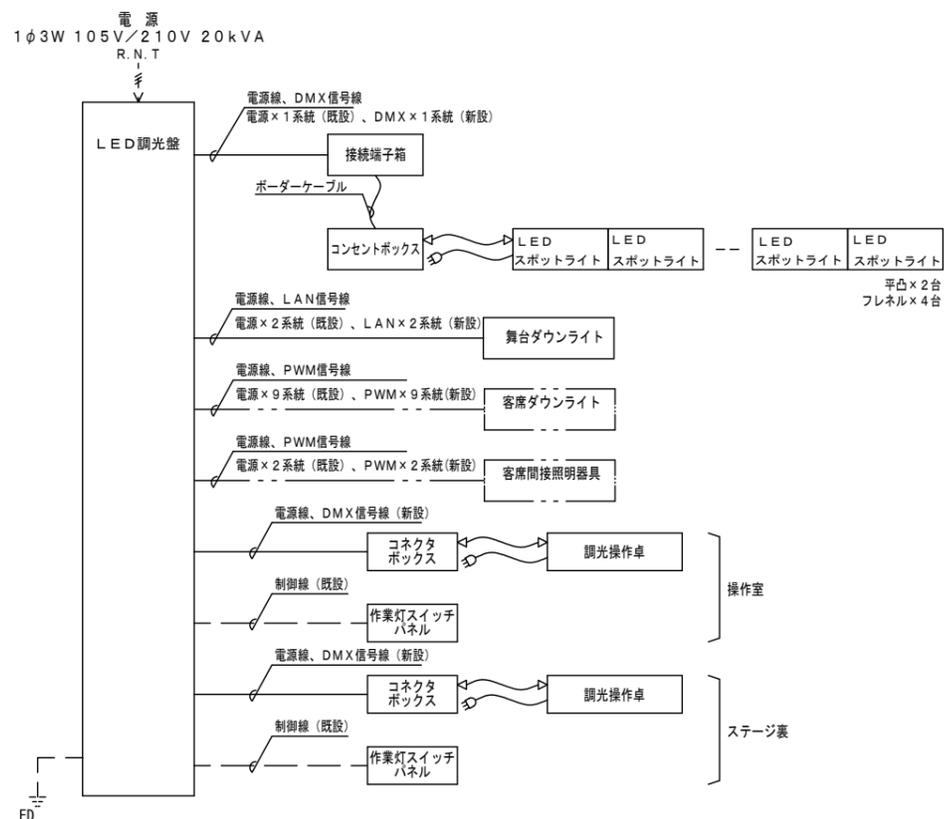
年月日

令和7年7月

特記仕様

- システム概要
 - 舞台上部のLEDスポットライトおよびLEDダウンライト、客席の一般照明器具（LEDダウンライト、間接照明器具）の調光制御を行うシステムとする。調光操作卓は、フェーダによる手動調光操作と、あらかじめ記憶したシーンを再生するシーン記憶・再生を行うことができること。調光信号の出力としてDMX信号を出力すること。また、調光操作卓のシーンとは別に、舞台・客席の照明シーンを再生する作業灯スイッチパネルを設置すること。LEDスポットライト、舞台LEDダウンライトは0~100%の連続調光が行えるものとする。また、白色LEDの平均演色評価数Ra95以上とする。
- 機器構成
 - ア. LED調光盤 1式 イ. 調光操作卓 2台
 - ウ. 調光操作卓用コネクタボックス 2台 エ. 作業灯スイッチパネル 2個
- 調光設備定格
 - ア. 電源方式 1φ3W 105V/210V 60Hz 20kVA
 - イ. 使用方法 連続使用 ウ. 周囲温度 0~40℃ エ. 負荷回路 演出用直回路 3回路 一般用直回路 11回路
- 機器仕様
 - LED調光盤
 - ア. 照明電源を受電する総主幹MCCB、操作主幹MCCB、演出用・一般用直MCCB等を収納し、調光操作卓および各負荷に電源を供給する。
 - イ. 作業灯制御部を収納する。
 - ウ. 盤の箱体及び扉体はt1.6以上の鋼板とする。
 - 内部点検が容易に行える構造とし、表面仕上げはメラミン焼き付け塗装とする。
 - 調光操作卓
 - ア. 操作面には各種フェーダ類を配置し、内部には基板等の制御部品を収める。
 - イ. 調光制御数は18チャンネルとし、調光回路信号はDMX512 1系統とする。
 - ウ. マスターフェーダ×1本、シングルフェーダ×18本を有すること。
 - エ. シーン再生鈕×6個、暗転鈕×1個、シーン記憶鈕×1個、フェード時間調整ボリューム×1個を有すること。
 - 調光操作卓用
 - ア. パネル表面に操作卓用の電源、制御用コネクタを配置する。
 - コネクタボックス
 - ア. パネル表面に作業灯スイッチ2個を配置する。
 - 作業灯
 - ア. パネル表面に作業灯スイッチ2個を配置する。
 - スイッチパネル

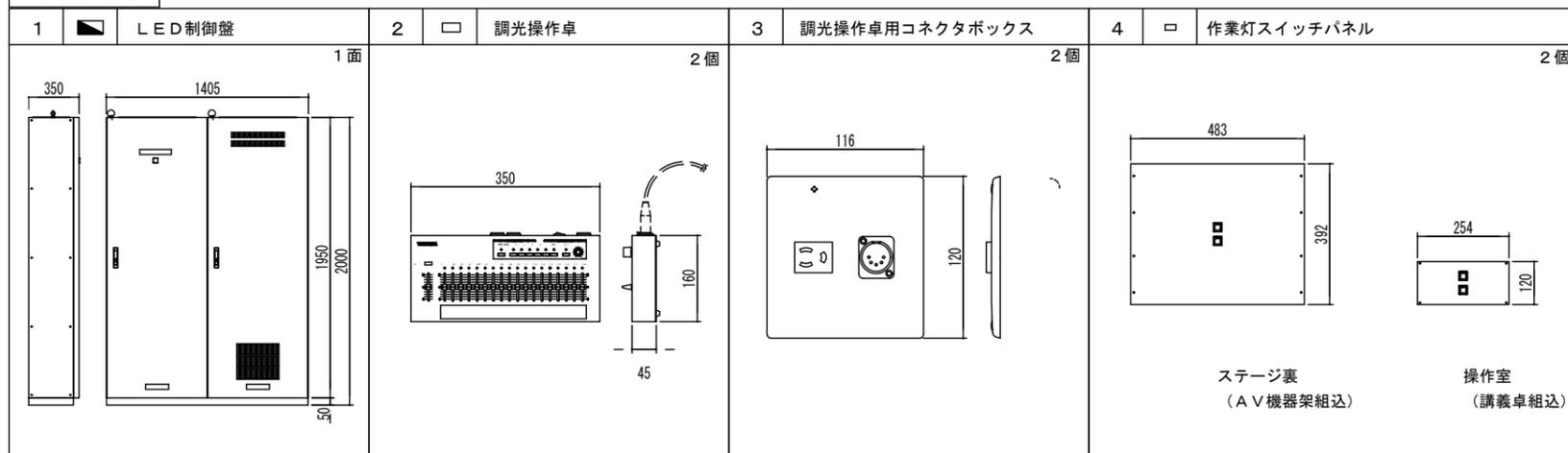
システム系統図



調光装置 構成表

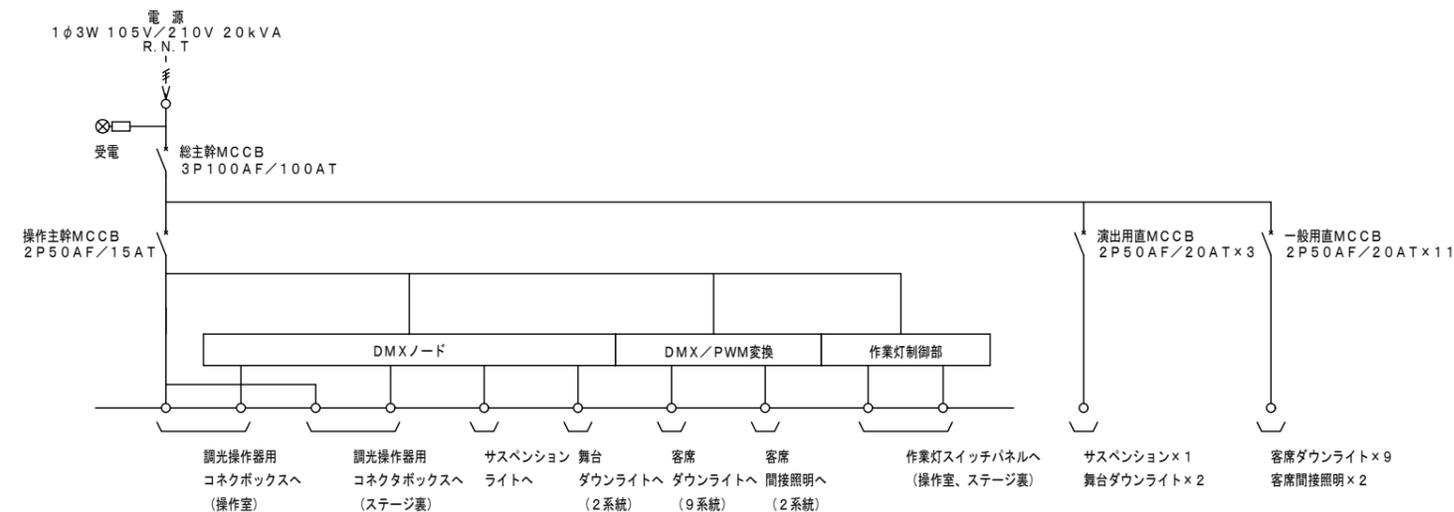
記号	機器名称	改修前設備内容		工事区分				改修後設備内容			備考	
		仕様	数量	単位	既設	撤去	更新	新設	仕様	数量		単位
1	調光盤 (LED調光盤)	1φ3W 105V/210V 60Hz 20kVA 総主幹MCCB 3P 100AF/100AT MCCB 1P 50AF/20AT 調光器 1L20A×9回路 調光器 FL20A×2回路	1	式			○	1φ3W 105V/210V 60Hz 20kVA 総主幹MCCB 3P 100AF/100AT 分岐MCCB x 1式 DMXノード (LAN×1、DMX×8) x 1台 DMX/PWM変換器 (PWM×4) x 3台 演出用直回路 20A x 3回路 一般用直回路 20A x 11回路 作業灯制御部 x 1式	1	式		
2	調光操作卓						○	制御チャンネル数 : 18チャンネル 記憶シーン数 : 6シーン マスターフェーダ x 1本 シングルフェーダ x 18本	2	台		
3	同上用コネクタボックス						○	電源、制御コネクタ x 1式	2	個		
4	リモコン操作器 (作業灯スイッチパネル)		1	台			○	作業灯スイッチ x 1式	1	個		
5	リモコンパネル (作業灯スイッチパネル)		1	台			○	作業灯スイッチ x 1式	1	個		

調光装置 姿図



※寸法は参考とする。

回路系統図



特記事項	設計	公益財団法人 三重県建設技術センター	縮尺	A2:S=N/S A3:S=N/S	三重県立看護大学講堂照明LED化工事	図番	年月日
					図名 舞台照明特記仕様書・機器構成表	No. E 06	令和7年7月

舞台照明仕様表

記号	機器名称	改修前設備内容				工事区分				改修後設備内容				備考		
		仕様	数量	単位	既設	撤去	更新	新設	仕様	数量	単位	回路数				
												直20A	DMX		LAN	PWM
	フットライト	60W×12灯 置型3色配線 L=1.8m	4	台		撤去済										
	同上用フロアコンセント	C型20Aコンセント×3口	1	個		撤去済										
S	サスペンションライト															
CB	コンセントボックス	C型20Aコンセント×8口	2	個			○	E付平行15Aコンセント×2口 DMXコネクタ×1口	1	個	1					
	ポーターケーブル	5.5sq-8C×10m (丸型)	1	本			○	5.5sq-3C+制御×10m (平型)	1	本						
	ケーブルリール	5.5sq-8C×10m用	1	台		○										
	ケーブル受けかご						○	1本用	1	台						
JB	接続端子箱	電源用	1	台			○	電源+制御用	1	台						
△	照明器具	500W平凸レンズスポットライト (ハンガー付)	2	台			○	LED102W平凸レンズスポットライト (ハンガー付)	2	台						
		500Wフレネルレンズスポットライト (ハンガー付)	4	台			○	LED102Wフレネルレンズスポットライト(ハンガー付)	4	台						
	制御ケーブル						○	DMXケーブル 2m	6	本						
舞DL	舞台ダウンライト		16	台			○	調色型LEDダウンライト(S) 2000クラス DMX光型	16	台	2		2			
	ピンスポットライト	500Wキセノンピンスポットライト(整流器・ランプ付)	2	台		撤去済										
		700Wキセノンピンスポットライト(整流器・ランプ付)	1	台		撤去済										
	コンセントボックス	C型20Aコンセント×1口	3	個		撤去済	○									
	一般照明機器															
	客席ダウンライト	ハロゲンダウンライト、水銀灯ダウンライト	1	式			○	LEDダウンライト PWM調光			9			9		
	客席間接照明器具	蛍光灯器具	1	式			○	LED間接照明器具 PWM調光			2			2		
								合計			14	1	2	11		

姿図

CB	コンセントボックス	ケーブル受けかご	JB	接続端子箱	△	LED102Wフレネルレンズスポットライト (電球色)	△	LED102W平凸レンズスポットライト (電球色)
	1個	1個		1個		2個		4個
	ハンガー	DMX-512ケーブル 2m	○A	調色型LEDダウンライト				

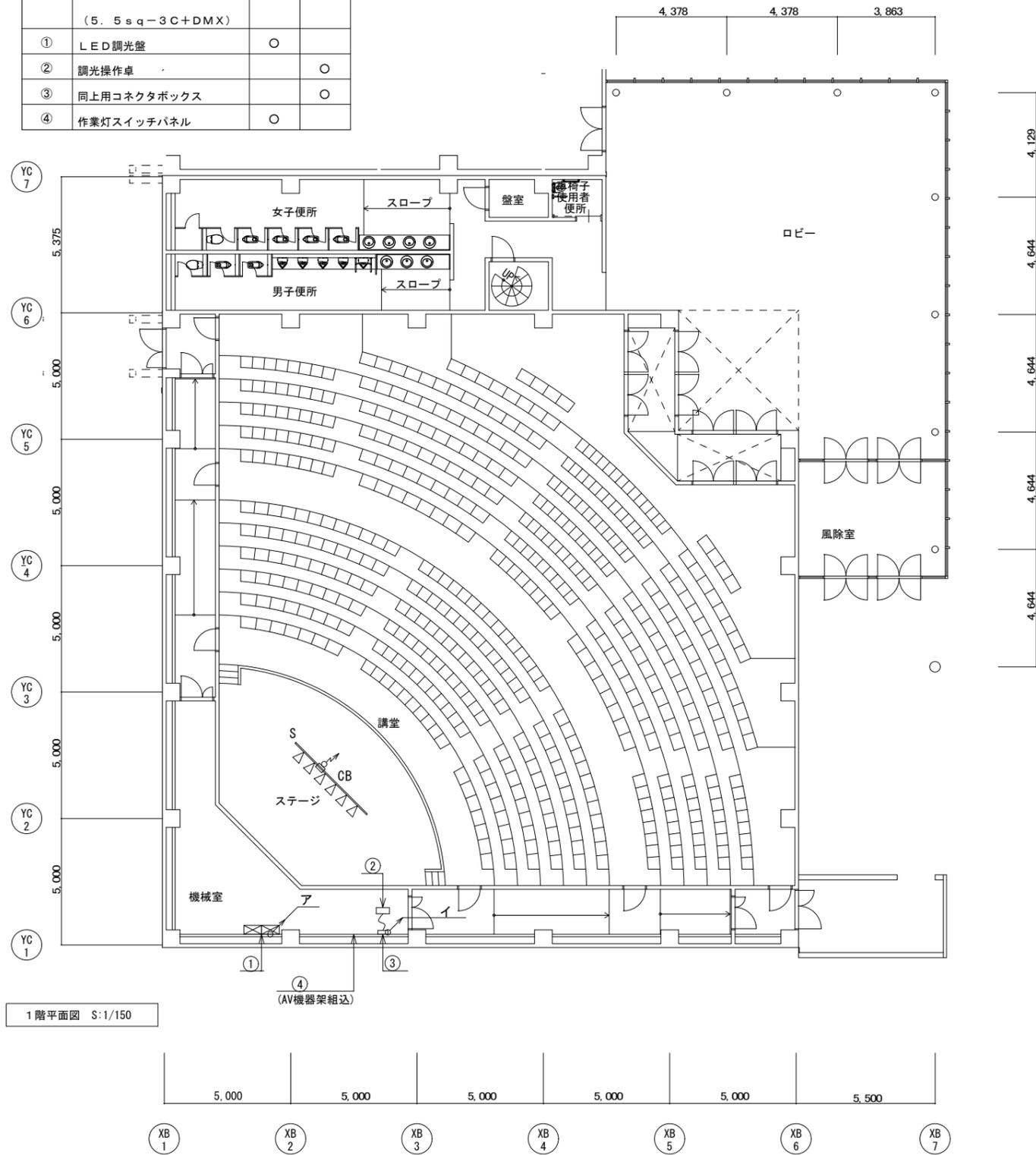
※寸法は参考とする。

特記事項	設計	公益財団法人 三重県建設技術センター	縮尺	A2:S=N/S A3:S=N/S	三重県立看護大学講堂照明LED化工事	図番	年月日
					図名 舞台照明仕様表・照明器具姿図	No. E 07	令和7年7月

記号	機器名称	区分	
		更新	新設
S	サスペンションライト		
CB	コンセントボックス (平行×2、DMX×1)	○	
△	LEDスポットライト	○	
↗	ボーダーケーブル (5.5sq-3C+DMX)	○	
①	LED調光盤	○	
②	調光操作卓		○
③	同上用コネクタボックス		○
④	作業灯スイッチパネル	○	

ア	CE5.5sq-3C×2	(E51)
	DMX203-2P-EM×3	(E51)
	EM-STP-CAT5e-4P×2	
イ	CE5.5sq-3C×1	(E31)
	DMX203-2P-EM×1	(E19)

天井内はこがし配線とする。

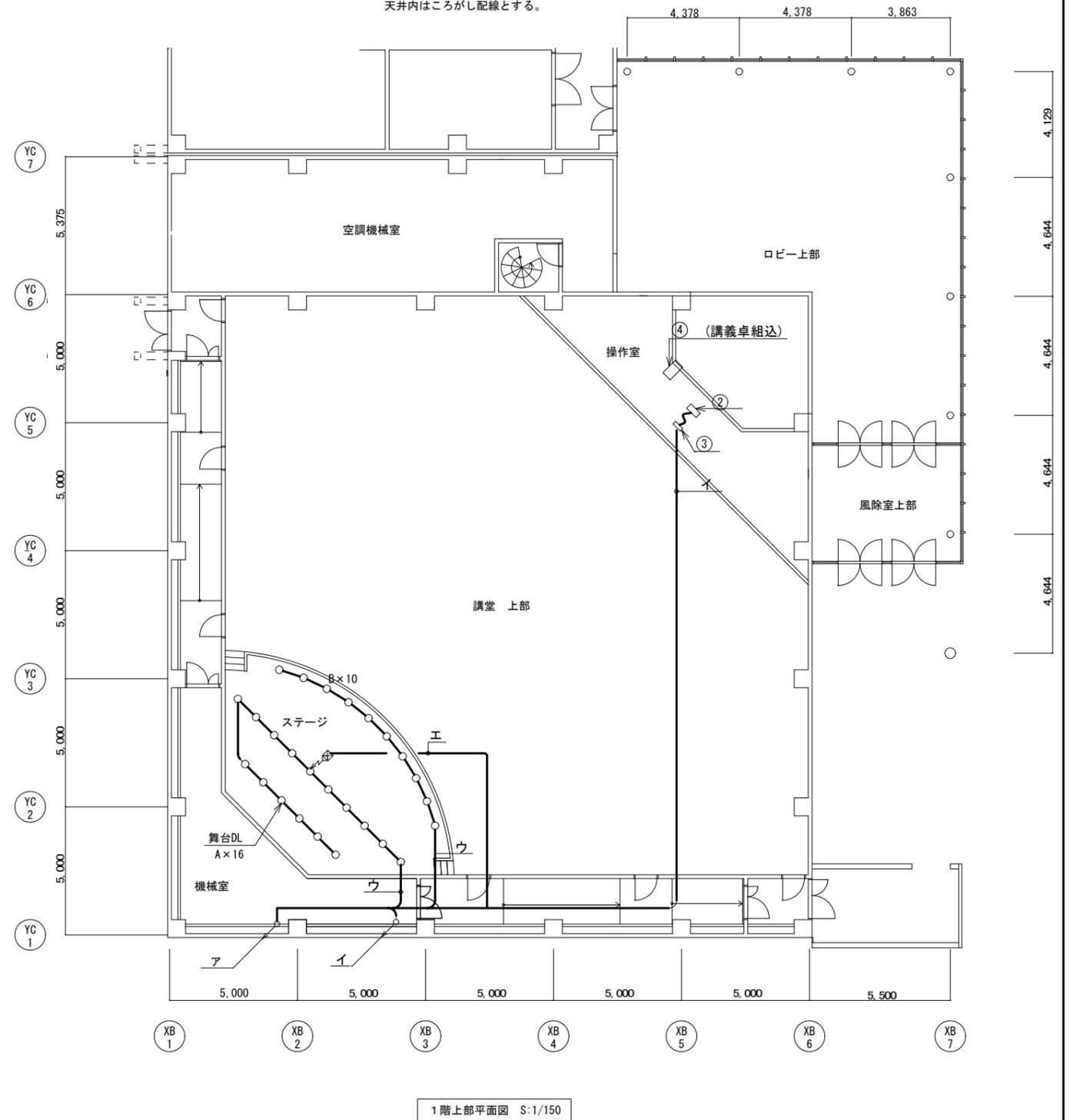


後

記号	機器名称	区分	
		更新	新設
○	舞台LEDダウンライト	○	
☒	接続端子箱	○	
↖	ボーダーケーブル (5.5sq-3C+DMX)	○	

ア	CE5.5sq-3C×2	(E51)
	DMX203-2P-EM×3	(E51)
	EM-STP-CAT5e-4P×2	
イ	CE5.5sq-3C×1	(E31)
	DMX203-2P-EM×1	(E19)
ウ	EM-STP-CAT5e-4P×1	(E19)
エ	DMX203-2P-EM×1	(E19)

天井内はこがし配線とする。



後

特記事項

設計

公益財団法人 三重県建設技術センター

縮尺

A2:S=1/150
A3:S=1/212

三重県立看護大学講堂照明LED化工事

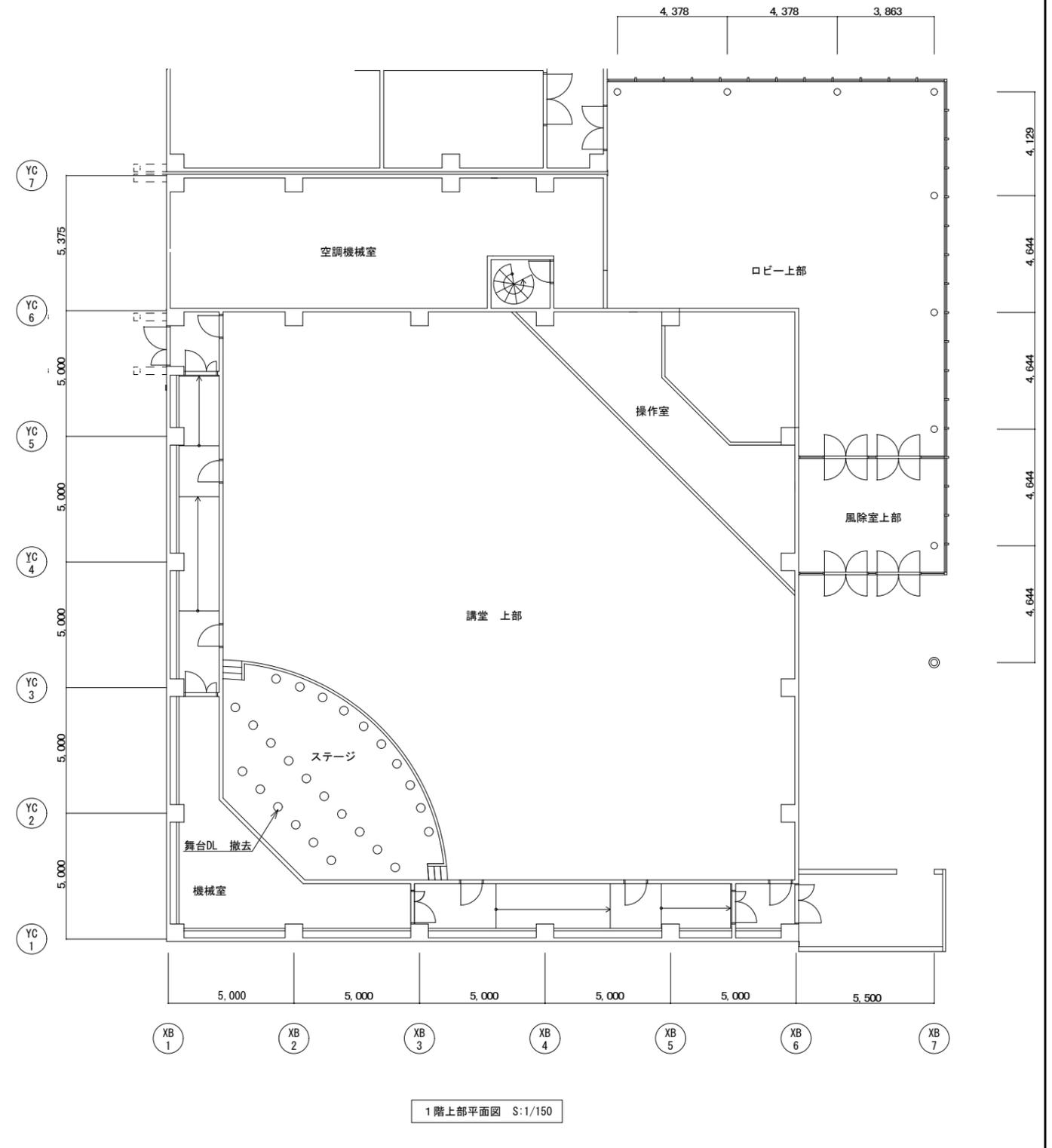
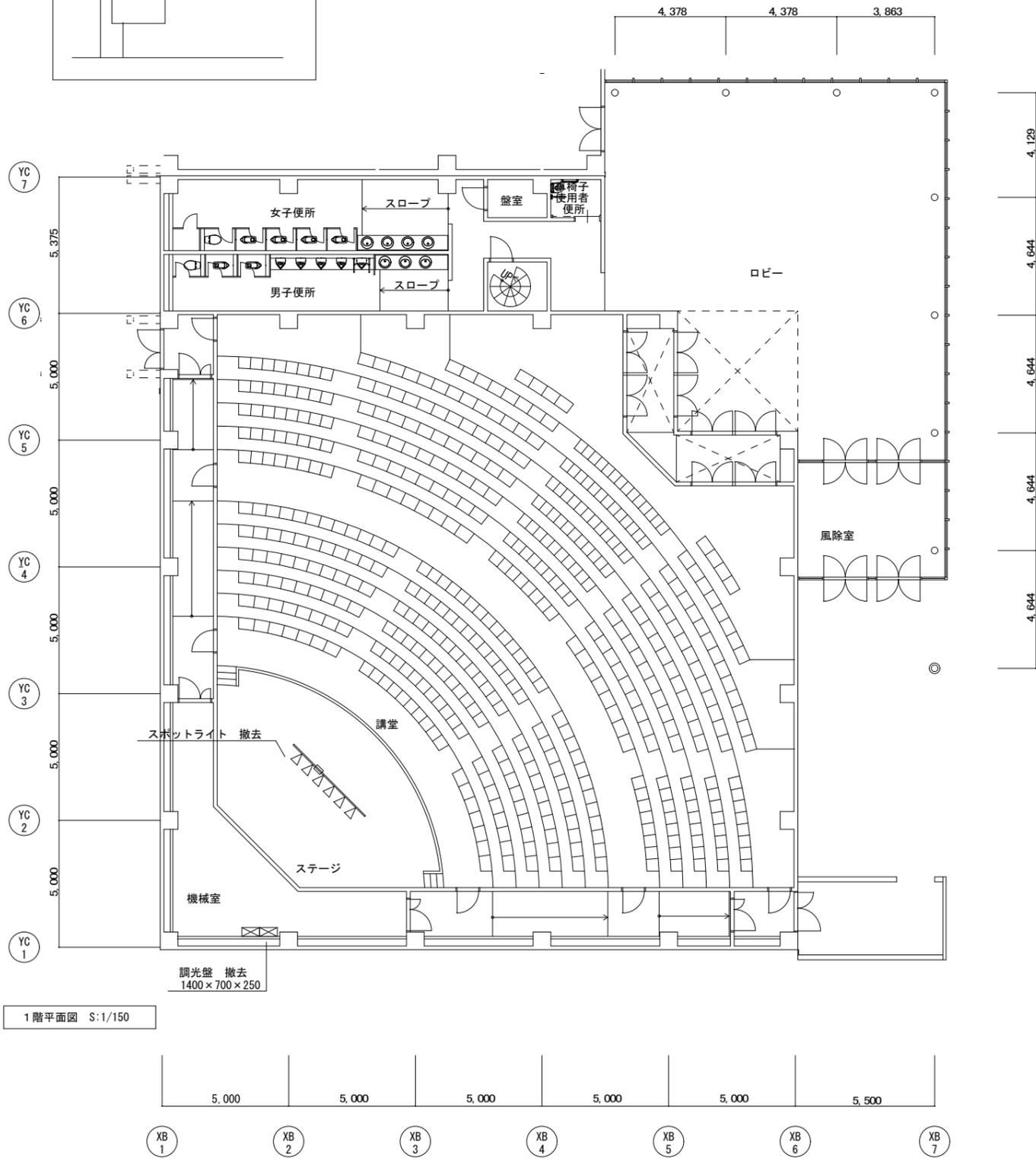
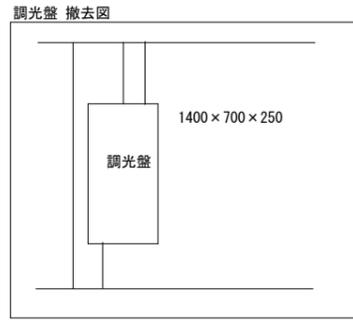
図名 舞台照明設備図(改修後)

図番

No. E
08

年月日

令和7年7月



特記事項

設計

公益財団法人 三重県建設技術センター

縮尺

A2:S=1/150
A3:S=1/212

三重県立看護大学講堂照明LED化工事

図名 舞台照明設備図(改修前)

図番

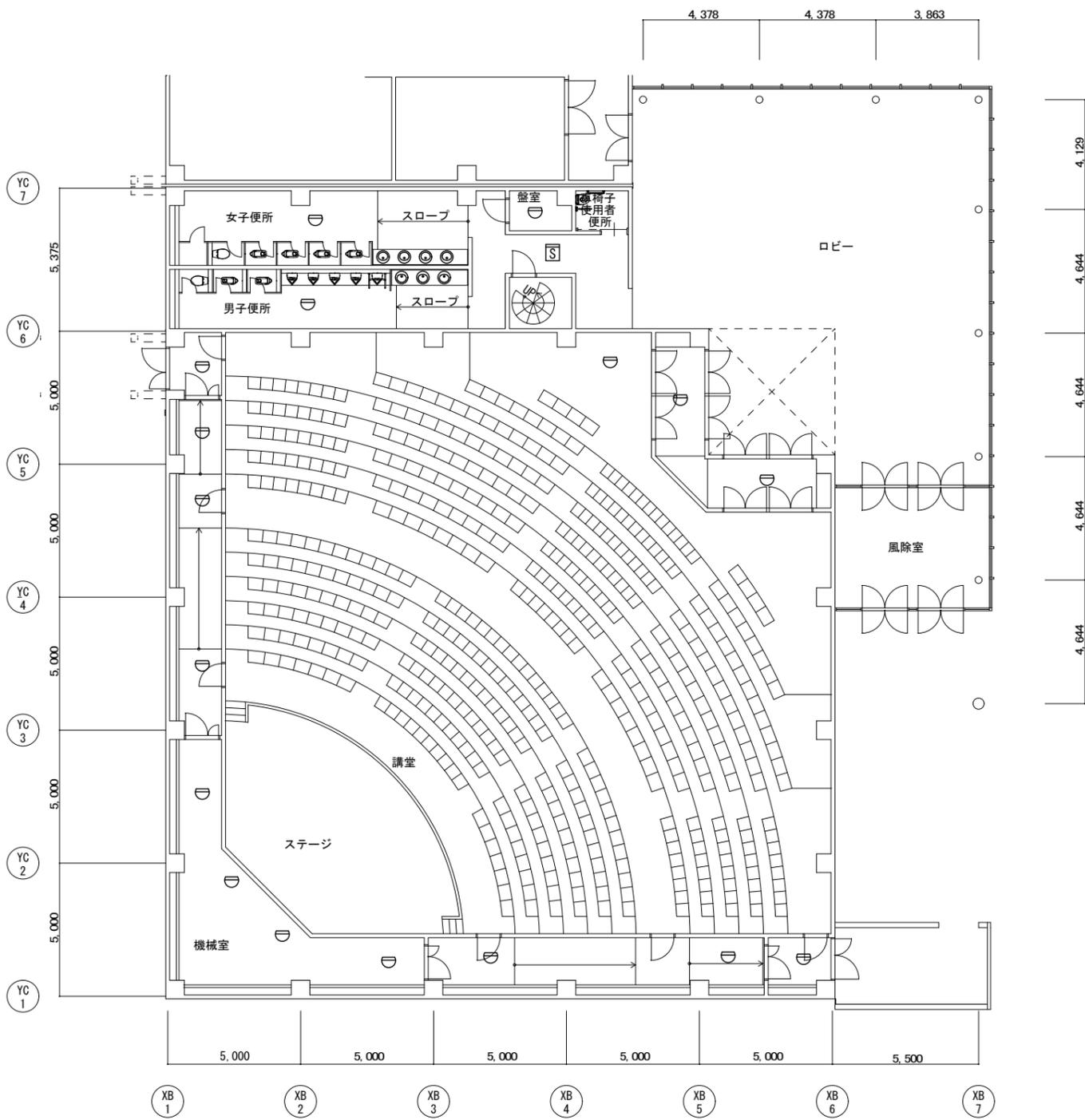
No. E
09

年月日

令和7年7月

記号	名称	備考
㊦	煙感知器 2種	撤去
㊧	差動式スポット型感知器 2種	撤去

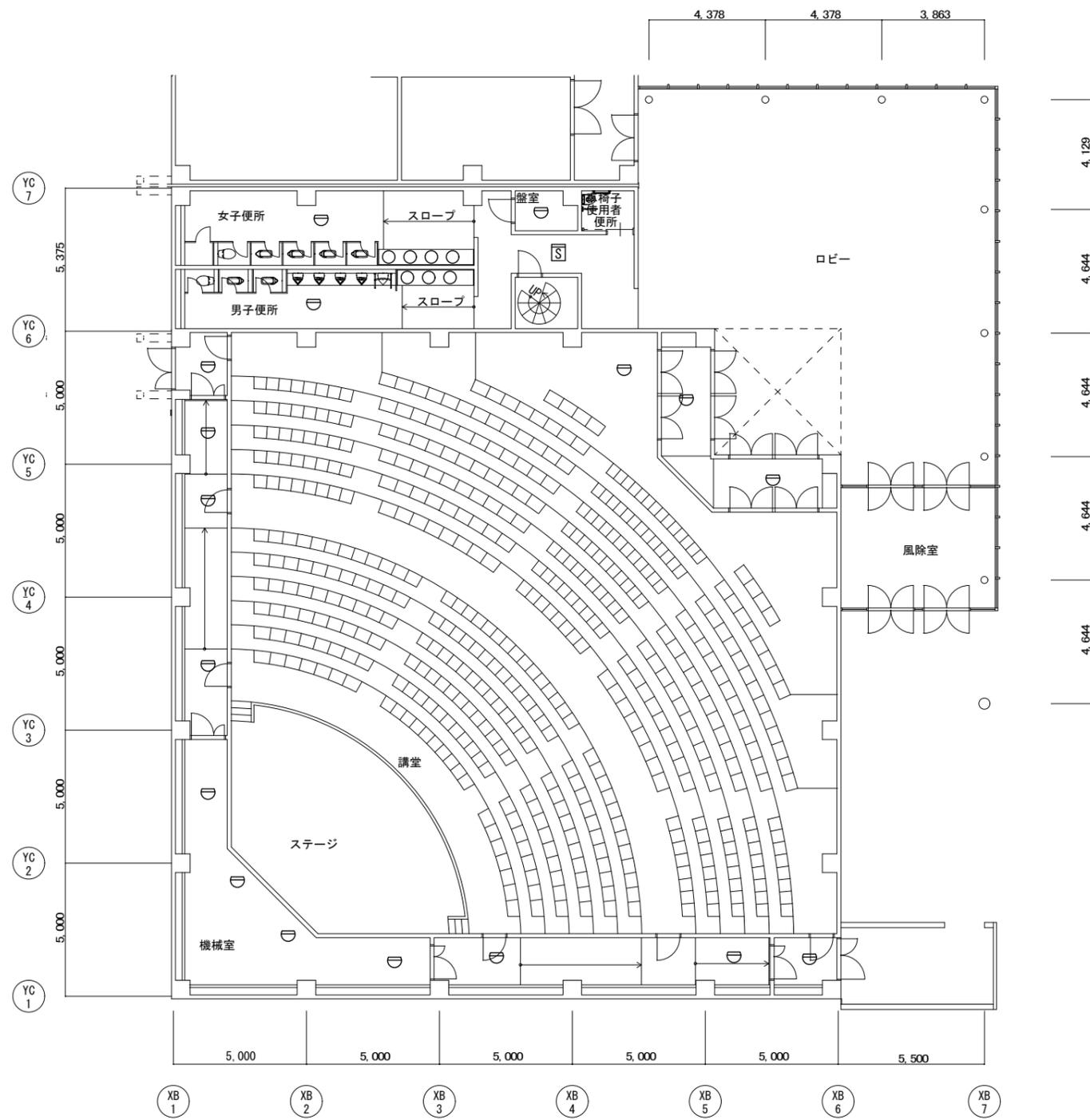
感知器は撤去処分とする。



1階平面図 S:1/150

前

記号	名称	備考
㊦	煙感知器 2種	
㊧	差動式スポット型感知器 2種	



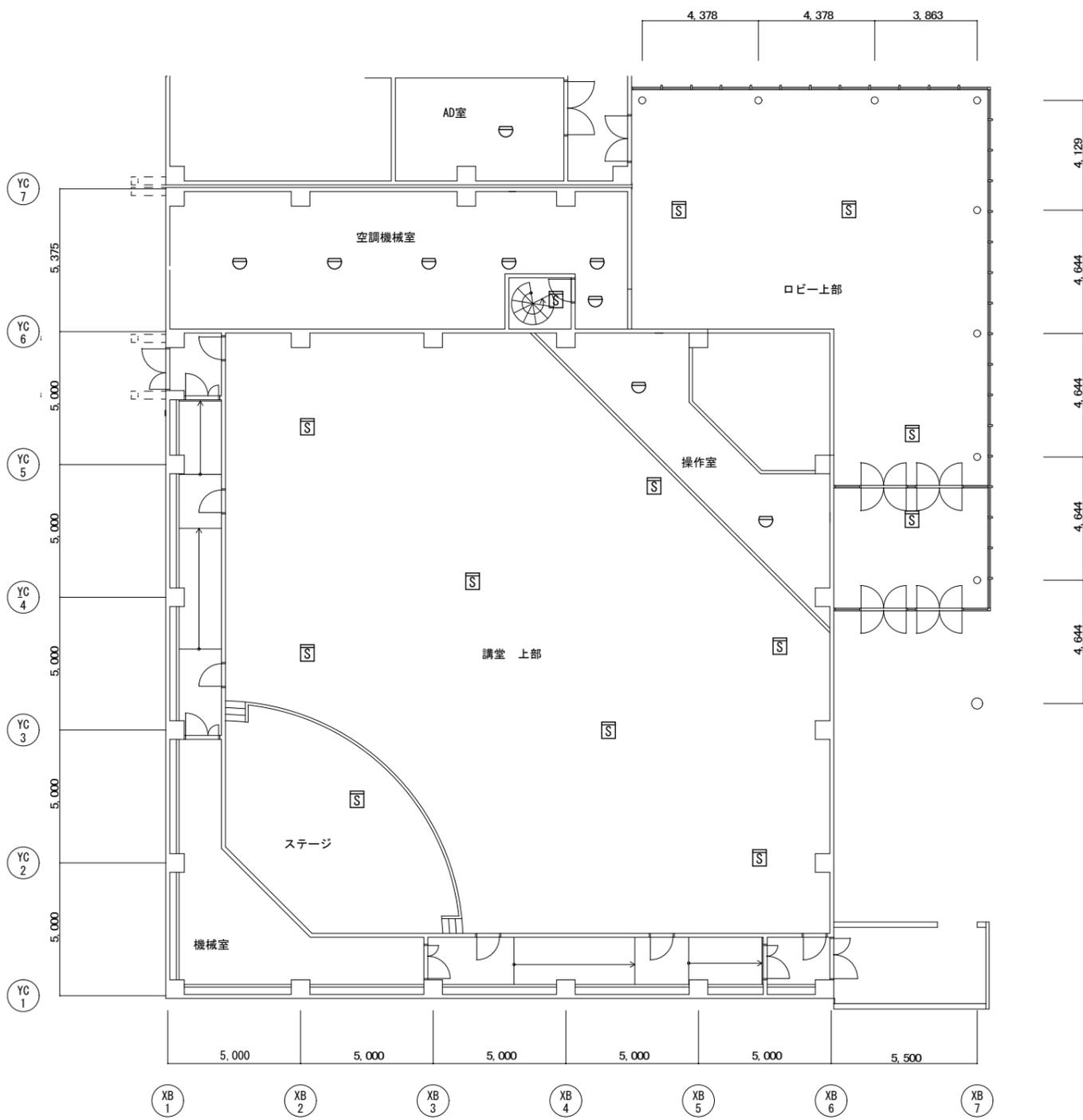
1階平面図 S:1/150

後

特記事項	設計	公益財団法人 三重県建設技術センター	縮尺	A2:S=1/150 A3:S=1/212	三重県立看護大学講堂照明LED化工事	図番	年月日
					図名 講堂1階自動火災報知設備図 (改修前・後)	No. E 10	令和7年7月

記号	名称	備考
☐S	煙感知器 2種	撤去
☐	差動式スポット型感知器 2種	撤去

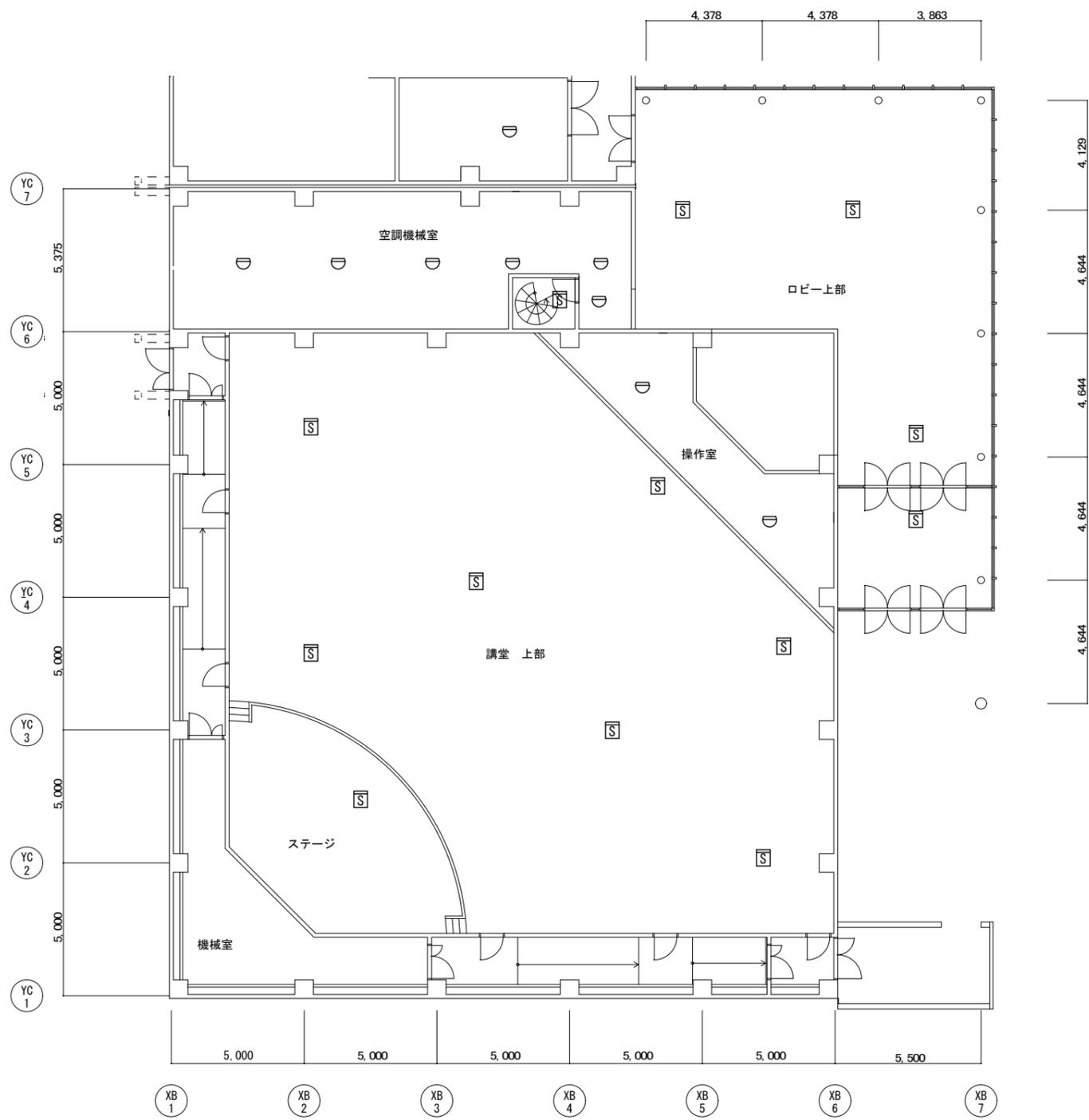
感知器は撤去処分とする。



1階上部平面図 S:1/150

前

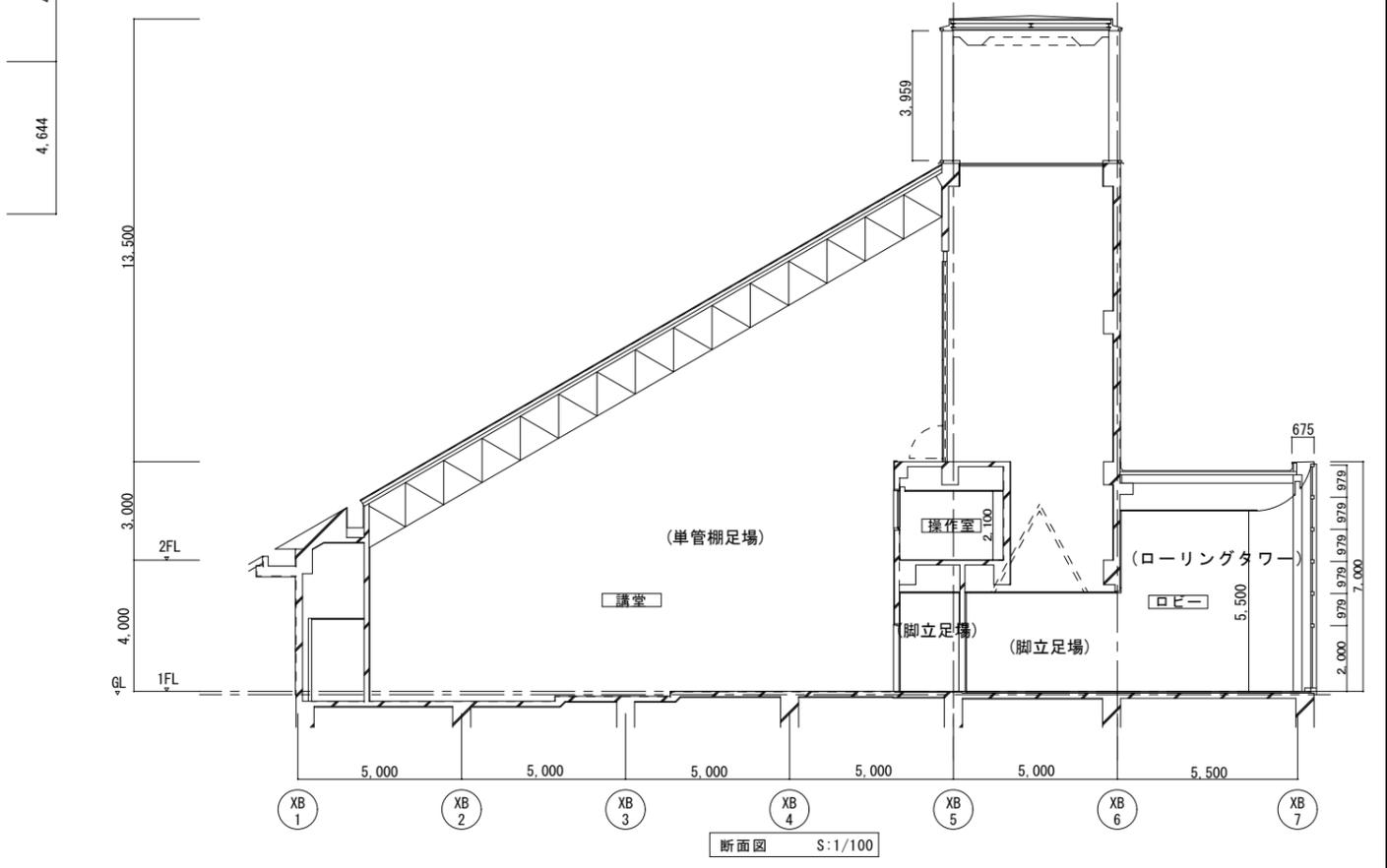
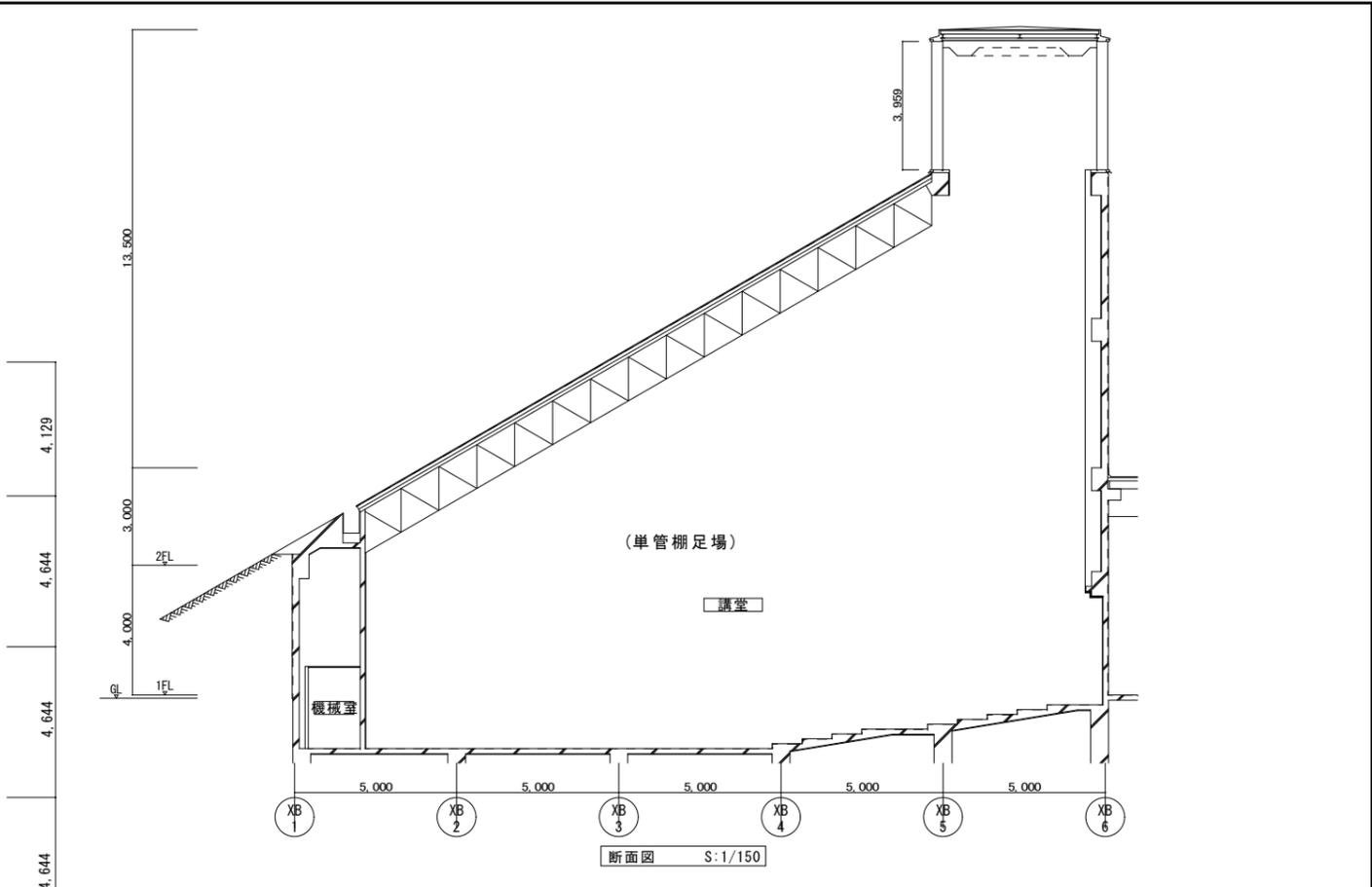
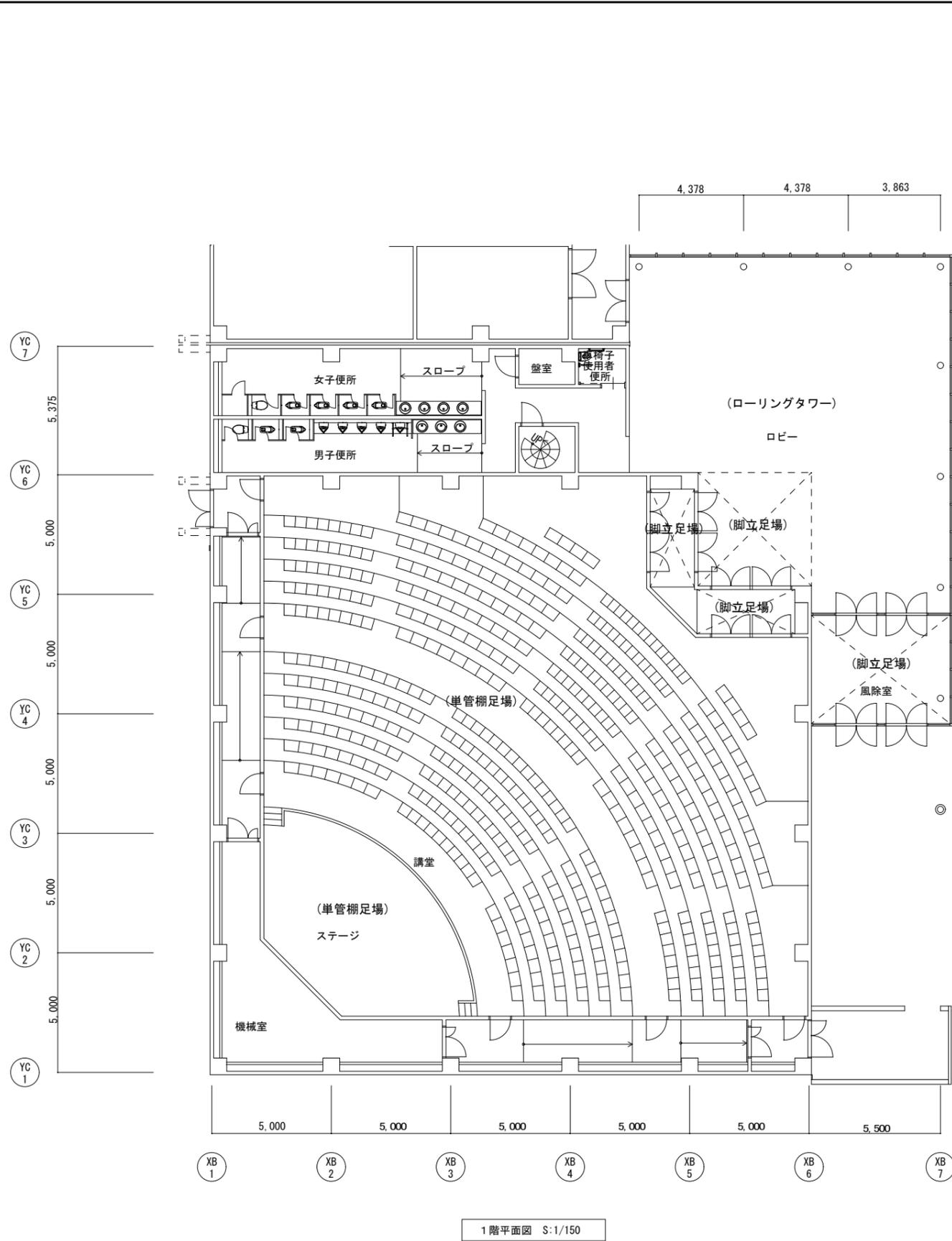
記号	名称	備考
☐S	煙感知器 2種	
☐	差動式スポット型感知器 2種	



1階上部平面図 S:1/150

後

特記事項	設計	公益財団法人 三重県建設技術センター	縮尺	A2:S=1/150 A3:S=1/212	三重県立看護大学講堂照明LED化工事	図番	年月日
					図名 講堂2階自動火災報知設備図 (改修前・後)	No. E 11	令和7年7月



特記事項	設計	公益財団法人 三重県建設技術センター	縮尺	A2:S=1/150 A3:S=1/212	三重県立看護大学講堂照明LED化工事	図番	年月日
					図名 仮設平面図・断面図	No. E 12	令和7年7月